

文章題テスト・説明文(4)

日 月 名前

★ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

わたしは、いまから一〇年あまりまえの春に、森のなかに小さな小さな小屋をたてました。

わたしが山小屋をたてた森は、自動車がいきかう国道から、十五分ほど歩いて山にはいった、スギとヒノキの森です。ちかくには、コナラの雑木林ぞうきはやしやアカマツの森もあります。このような変化へんかのある森にすむ野ネズミの代表が、アカネズミとヒメネズミです。これらの野ネズミは、尾おが、からだとおなじくらい長くて、すばやく動くことができます。そして、おもに木の実を食べてくらし

ているのです。
野ネズミは、とても小さな動物です。からだ3が小さいことには、よいことと、わるいことがあるようです。

からだ3が小さいと、たくさん4の動物にねらわれます。キツネやフクロウだけではありません。イタチやヘビなど、野ネズミを食べようとする動物がたくさんいるのです。森のなかでは、うかうかしてはいられません。

けれども、からだ3が小さいと、石の下、岩のわれめ、木の根もと、たおれた木の下、やぶのなか、それにモグラのトンネルのなかなど、森にあるたくさん5のすきまに、かくれることができます。これが、からだ3が小さいことの、よいほうの意味なのです。

野ネズミたちは、ふだん、わたしたちの目に入らない小さなすきまを、じょうずにつかっているのです。

いまいずみよしはる 今泉吉晴「野ネズミの森」より。一部省略しりょうりやく

(注) 雑木林…まきなどにしか使いみちがない木の林



1 線1 「変化のある森」とは、どのような森のことですか。もっともふさわしいものを、ア〜エから選んで、記号に○をつけなさい。

ア 自動車がいきかう国道からあまり遠くない森

イ スギとヒノキがしげっている森

ウ ちがう種類の木が、近くにはえている森

「このような変化のある森」とあるので、すぐ前の部分をよく読む。いろいろな種類の木がはえていることをせつめいしている。

エ 山や谷があって、地形が入りくんだ森

2 線2 「アカネズミとヒメネズミ」について、次の表にまとめました。①に当てはまる言葉を、二字で書きなさい。また、②に当てはまる言葉を、文中から二字で書きぬきなさい。

からだのとくちよう	① 小さなからだに、からだとおなじくらいの①の尾がついている。
動きのとくちよう	すばやい。
食べものの種類	おもに②を食べる。

① 長さ

② 木の实

すぐ後の、「これらの野ネズミは…」でせつめいしている。

3 線3 「からだ小さいことには、よいことと、わるいことがある」とありますが、このうち、「わるいこと」はどのようなことですか。文中の言葉を使って、十五字でいどで書きなさい。すぐ後で「わるいこと」を、4行後からは「よいこと」をせつめいしている。

た	た	例
く	く	動物
さん	さん	に
の	の	ね
動物	動物	ら
に	に	
ね	ね	
ら	ら	

4 線4 「野ネズミを食べようとする動物」に当てはまらないものを、ア〜オから一つ選んで、記号に○をつけなさい。
モグラのほったトンネルが、野ネズミのかくれ場所になっている。

ア キツネ

イ フクロウ

ウ イタチ

エ ヘビ

オ モグラ

5 線5 「小さなすきまを、じょうずにつかっている」とは、どういうことですか。次の文の□に当てはまる言葉を、文中から四字で書きぬきなさい。

小さなすきまに

かくれる

ことで、ときから自分の身を守って

いるということ。

三行前に「森にあるたくさんのすきまに、かくれることができます」とある。

